



# 香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



コスモス畑 (さぬき市寒川町)

## 目 次

1. 3.11 東日本大震災復興支援 水土里の集い  
～第 34 回全国土地改良大会 in みやぎ～ .....2～3
2. この道一筋 秋の叙勲 .....4
3. TPP 交渉参加反対香川県集会開催 .....4
4. 平成23年度換地計画実務研修会開催 .....5
5. 農地・水・環境保全向上対策の活動紹介 .....6～7
6. 命の水を大切に .....7
7. 平成 23 年度「ため池のある風景」写真コンテスト作品募集 .....8
8. 会と催し .....8

# 復興へ! がんばろう東北・日本

みどり  
水土里ネット みやぎ

## 3.11 東日本大震災復興支援 水土里の集い ～第 34 回全国土地改良大会 in みやぎ～



3.11 東日本大震災により未曾有の被害を被った東北地方をはじめ、東日本地域の水土里ネットと全国の水土里ネットが早期の復旧・復興に向け一体となって取り組むとともに、防災対策を含め今後の農業農村整備事業の更なる推進を図るため『復興へ 土地改良の底力を！がんばろう東北・日本』をテーマに、去る 10 月 20 日、宮城県の仙台国際センターにおいて、3.11 東日本大震災復興支援 水土里の集い ～第 34 回全国土地改良大会 in みやぎ～が開催され、全国から土地改良関係者約 1,150 名が参加した。

大会式典に先立ち、未曾有の大震災によりなくなられた方々に哀悼の意を表して黙祷が行われた。その後、開催県である水土里ネットみやぎの伊藤康志会長が開会の挨拶をし、引き続いて全国水土里ネットの野中広務会長が主催者として挨拶を述べた。

また、来賓として、岩本 司農林水産副大臣、村井嘉浩宮城県知事、奥山恵美子仙台市長をはじめ多くの方々が臨席された。

続いて、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰 6 名、農林水産省農村振興局長表彰 16 名、全国土地改良事業団体連合会長表彰 47 名が表彰された。本県からは、全国土地改良事業団体連合会長表彰に坂出市川津町土地改良区理事長の篠原静夫氏が受賞の荣誉に浴された。

引き続き、水土里ネットわたり（宮城県）ほか 3 県の 5 改良区よりそれぞれ被災報告と復興への取り組みについて発表があった。続いて、農林水産省農村振興局次長の林田直樹氏による基調報告『東日本大震災による農地・農業用施設の被災及び復旧』『農業農村整備の展開方向』と宮城大学



全国土地改良事業団体連合会長表彰  
坂出市川津町土地改良区  
理事長 篠原 静夫氏

理事兼大学院食産業学研究科長であり水土里ネットみやぎの理事でもある加藤 徹氏から『東日本大震災の農地等の被災と今後の農業の復興について』基調講演が行われた。

また、津波による浸水区域の水土里ネットを代表して水土里ネットわたりの三品理事長から、農林水産省の指導により除塩田から収穫された米が岩本農林水産副大臣に贈呈された。



大会宣言

水土里ネット名取の  
伊藤秀利さんと小島ますみさん

## 大会宣言

我々水土里ネットは、永年にわたる先人達の英知と絶ゆまぬ努力により、国民の食料の安定供給はじめ豊かで安定した用水の確保、地域資源の保全等の多面的機能の発揮、そして何よりも大切な地域の絆を築き、維持し、発展に貢献して参りました。

このような中、3.11 東日本大震災によって、国民生活にとって大事な、そして水土里ネットが作り上げてきた多くの大切なものを失いました。

我々が世界に誇るあの豊かで美しい田園風景、そして地域の強い絆で結ばれた里の姿は一瞬にして消滅し、ガレキとヘドロと海水に覆われた荒涼とした無機質な風景を目の当たりに、我が目を疑い、言葉を失い、唯茫然とするのみでありました。

しかし、先人から営々と引き継がれてきたこの素晴らしい水(み)・土(ど)・里(り)の財産を、我々の子々孫々、未来に確実に継承していくことが今を生きる我々の使命であり、責任であります。

今こそ、この原点に戻り、誰もが経験したことがない未曾有の被災を乗り越えるべく、水土里ネットが一致結束し、先陣となり、復旧・復興に立ち上がり、未来に誇れる美しく、豊かな日本の原風景を蘇らせ、新たな農村づくりに邁進していかなければなりません。

今、地球上では飢えによって多くの子供達の尊い命が失われ、また、二酸化炭素による地球温暖化等の環境問題、さらにはエネルギー問題等多くの難問に直面しています。我々はこのグローバルな課題にも正面から取り組んでいく事が求められています。

我々水土里ネットは今こそ壊滅的被災を受けた農地や土地改良施設の早期の復旧・復興に組織の総力を挙げて取り組むとともに、輝かしい未来に向けて、食料の安定供給、地域環境の保全等多面的機能の確保、エネルギー対策、そして今回の大震災を教訓とした防災対策の推進に、今こそ土地改良の底力を発揮して全力で取り組むことを、被災地東日本・東北・みやぎの地から宣言します。

**『復興へ 土地改良の底力を！ 頑張ろう東北・頑張ろう日本』**

## この道一筋 秋の叙勲

11 月 3 日、2011 年秋の叙勲受章者が発表された。

本会の副会長で香川用水土地改良区理事長である組橋啓輔氏が地方自治功勞の分野で旭日中綬章を受章された。

氏は、昭和 54 年 4 月に 38 歳で県議会議員に初当選以来 8 期 32 年にわたり瀬戸大橋、四国横断自動車道など「道づくり」に奔走し、香川の発展のために貢献された。

一方、昭和 56 年に卓越した指導力と温厚誠実にして責任感の強い人柄から推されて三豊郡仁尾町土地改良区理事長に就任し、町行政と一体となって地域土地改良事業の推進に努め、農道整備やため池整備のほか、仁尾町の特産物である「曾保みかん」の品質向上と労働力削減を目的とした畑地かんがい事業に大きく貢献した。平成 8 年 9 月には香川用水土地改良区の理事に、更には、平成 16 年 10 月には理事長に就任している。

郷土香川の発展に貢献されたご努力に敬意を表し、今後とも水・土・里に関わる事業を中心に魅力と活気に満ちた地域発展のためにご尽力いただけるよう、益々お元気で活躍されることをご祈念申し上げます。



旭日中綬章を受章された  
香川用水土地改良区  
理事長 組橋 啓輔氏

## TPP 交渉参加反対香川県集会開催

10 月 29 日、「TPP 交渉への参加に反対する香川県ネットワーク」JAグループ香川・香川県漁業協同組合連合会・香川県土地改良事業団体連合会・香川県農業会議・香川県農業共済組合連合会・香川県森林組合連合会主催により、農家等約 450 人のほか、浜田県知事や党派を超えて県選出の国会議員等が出席し、高松市寿町の香川県 JA ビルにおいて「TPP 交渉参加反対香川県集会」が行われた。



環太平洋連携協定（TPP）の交渉参加をめぐる議論が活発化する中、地域の雇用改善、農林水産業の振興、食の安全性確保、医療制度の充実は、国民の生命に直結した、根本的に重要な問題であるにも関わらず、十分な情報開示や広範な国民各層の議論もないまま、参加を拙速に判断しようとする政府の姿勢は問題として、TPP 交渉参加の断固阻止に取り組む決議を採択した。

## 平成 23 年度 換地計画実務研修会開催

去る 10 月 24 日～25 日、さぬき市役所 3 階会議室、また、11 月 1 日～2 日には綾歌郡綾川町綾上農村環境改善センターにおいて、平成 23 年度換地計画実務研修会を開催した。

この研修会は、水土総合強化推進事業の一環として、本会主催により毎年実施しており、換地技術の強化及び換地事務の円滑な推進並びに関係土地改良区役職員の知識の向上を図ることを目的としている。

今年度は、初めての試みで同じ科目をほ場整備事業の盛んな地域の二会場で開催し、県、市町、土地改良区役職員をはじめ、事業実施地区の換地委員等 55 名が受講した。

両会場とも開会にあたり、本会山地常務理事から農業農村整備事業の現状報告と出席者に対するお礼の挨拶があり、続いて 2 日間にわたり下記科目について研修が行われ、換地に関する理解を深めた。



**10 月 24 日さぬき市において  
開会の挨拶をする山地常務理事**



**10 月 24 日さぬき市において講義する  
香川県農業会議 太田考査役**



**11 月 2 日綾川町において講義する  
中国四国農政局 中村指導官**

研 修 科 目	講 師
開 講 式	香川県土地改良事業団体連合会
換地理論・交換分合	中国四国農政局農村計画部土地改良管理課 土地改良指導官 中村 克治 農地集団化係長 大西 弘二
民法（相続）	高松法務局民事行政部不動産登記部門 統括登記官 佐竹 昭彦
土地改良法手続き	香川県農政水産部土地改良課 副主幹 坂田 浩
農業者年金制度の概要について	香川県農業会議 調査役 丸山 和伸 主 事 松原 祥平
農業経営の法人化及び相続税・贈与税・納税猶予制度について	香川県農業会議 考査役 太田 健司
換地業務の流れとあらまし	香川県土地改良事業団体連合会換地登記課 副主幹 岸上 静江
換地実務処理事例	香川県土地改良事業団体連合会換地登記課 副主幹 富永 雅人

# 農地・水・環境保全向上対策の活動紹介

## 第4回れんこん収穫祭

去る 10 月 22 日、農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいる「まえだ環境保全組合」主催による第 4 回れんこん収穫祭が、高松市前田西町の引妻池において開催された。

午前 10 時、同保全組合の伏見正範会長より開会の挨拶があり、その後、参加者らはレンコンやサツマイモの収穫を行った。



会場には、中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所による水生生物の展示やペーパークラフトのコーナーが設けられ、参加した子どもたちは熱心にハサミを動かして動物や乗り物を作り楽しんでいた。参加した地域住民は、収穫を楽しむと同時にため池の環境保全の重要性を学んだ。

### まえだ環境保全組合



ため池、水路、田んぼの生き物を展示

### 野間田東環境保全組合



## 第4回野間田東コスモス祭り

さぬき市の野間田東環境保全組合主催による第 4 回コスモス祭りが 10 月 23 日に開催された。

この日は、小雨交じりの天候であったが、会場には子供達の絵画や竹で作った花瓶にコスモスを生けた作品が並べられ、自治会や地域の協力により銭太鼓の踊りや紙芝居等の催しも行われるなどして大勢の参加者で賑わった。

お昼には、ドジョウ汁と地産地消の PR として、地元で収穫された「のまだ米」で作ったおにぎりが配られた。

## 第5回コスモス交流会

三木町氷上の丸岡生き生きクラブは、農地・水・環境保全向上対策の共同活動を推進することで、地域住民の環境に対する意識の向上や地域の繋がりを強くすることを目的として、11 月 3 日、今年も第 5 回目となるコスモス交流会を開催した。

交流会では、日頃の活動の様子を紹介した写真や地域の子どもの絵を展示するとともに綿菓子やパトライス、焼きいも、甘酒などが参加者に振る舞われた。

### 丸岡生き生き活動組織



活動状況のパネルを見入る参加者

## 癒しの里づくり 下屋コスモスまつり

### 下屋農地水保全活動組織



挨拶をする森川会長

11月5日、さぬき市長尾において下屋農地水保全活動組織（会長森川康生）主催による「下屋コスモスまつり」が開催された。

開会の挨拶で森川会長は、「平成19年度から実施してきた本事業も本年度が最終となりましたが、引き続き地域一体となった活動の継続にご協力をお願いします

す。」と述べた。この日は生憎の小雨模様の日だったが、イベント会場では、獅子舞が披露された後、ジャンボしゃぼん玉や竹筒を使った昔の遊びが行われた。

また、参加者にはあげたこ、大判焼き、綿菓子や打ち込みうどんが振る舞われた。



### 21世紀土地改良区創造運動

## 命の水を大切に！

### 水土里ネット香川用水が出前授業

#### — 高松市立川岡小学校3年生・4年生72名 —



水土里ネット香川用水は、21世紀土地改良区創造運動の一環として、幹線水路の施設を点検整備のため通水を停止するこの時期に、県内小学校において出前授業とクリーンアップ大作戦を実施している。今年は9校で3年生から5年生を対象として出前授業を行った。

11月4日には管理課の森主事が教壇に立ち、高松市立川岡小学校の3年生と4年生に香川用水の役割や重要性について授業をし、

水の大切さを呼びかけた。教室での授業の後には、学校近くの香川用水東部幹線水路の川部第1・第2開水路（延長500m）に移動し、水路内の枯れ葉やゴミなどを取り除く清掃作業を実施してもらった。県民の大切な生活用水として重要な役割を果たすとともに、日頃は絶対に入ることの出来ない香川用水施設に入り、児童らにとっては貴重な体験学習となった。



## 平成 23 年度「ため池のある風景」写真コンテスト作品募集

全国ため池等整備推進事業推進協議会では、「ため池のある風景」写真コンテストを通じて、より多くの国民が身近なため池の存在に気づき、その景観的な価値も含めて、多様な機能をさらに知ってもらおうと本年度も「ため池のある風景」写真コンテストの作品を募集しています。

### ● 題 材

農業用ため池（農業用水として貯留水の一部が現に使用されているため池。ただし、いわゆるダムと称されているものは除く）、農業用ため池を含めた農村の風景、ため池と棚田、ため池を管理する農家、ため池の四季など、自由。

### ● 入選作品の著作権

- ・応募作品の著作権は撮影者に帰属します。
- ・全国水土里ネットは入賞作品を無償で使用する権利を有します。
- ・入賞作品は、発表パンフレットへの掲載、入賞作品表彰式(展示会)、出版物への使用、関係機関の広報宣伝物への掲載（新聞、定期刊行物、ポスターなどの印刷物、ホームページなどのwebコンテンツとしての二次利用）などに使用。

### ● 応募方法

応募サイズ／四つ切り又は四つ切りワイド  
(その他のサイズは審査不可)

カラー、モノクロ自由。合成写真不可。未発表作品に限ります。過去にコンテスト等で入賞・入選された作品や現在コンテスト等に応募し、まだ結果が判明していない作品も応募できません。所定の応募票を必ず作品の裏に貼付のこと。応募票のない作品、応募票に所定の記載事項が明記されていない作品は審査できません。

### ● 応募先

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4階  
全国水土里ネット内  
「ため池のある風景写真コンテスト」係

● 応募締め切り 平成 23 年 12 月 31 日

応募の詳細、応募票は全国水土里ネットのホームページ (<http://www.inakajin.or.jp>) をご覧ください。

## 会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
10月13日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者研修	東京都
20日	3.11 東日本大震災復興支援 水土里の集い (第34回全国土地改良大会 in みやぎ)	宮城県
〃	綾川町地域農業再生協議会担い手部会	綾川町
24日 ~25日	平成23年度換地計画実務研修会	さぬき市
26日	平成23年度第7回観音寺市地域担い手育成総合支援協議会幹事会	観音寺市
29日	T P P 交渉参加反対香川県集会	高松市
11月 1日 2日	平成23年度換地計画実務研修会	綾川町
1日	香川用水二期地区営農検討委員会 (第2回)	高松市
5日	高松市木太土地改良区 (前) 理事長大見繁義氏の瑞宝単光章受章祝賀会	高松市
8日	T P P から日本の食と暮らし・いのちを守る国民集会	東京都
10日	担い手確保・農地集積関係香川県会議	丸亀市
〃	中国四国土地改良事業団体連合会事務部会	山口県